

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

教育政策課

1 施設の概要等

施設名	府中市上下歴史文化資料館		
所在地	府中市上下町上下1006		
設置目的	歴史資料等の収集、保管、展示、調査及び研究等の事業を行い、文化財の保護と活用を図る。また、岡田美知代の紹介と上下地域の歴史・文化調査及び研究を行い、上下地域固有文化財の保護・普及活動を図ることを目的とする。		
施設・設備	地上2階建物、木造瓦葺 1320.5㎡ 延べ床面積712.6㎡		
指定管理者	R6, 4, 1	～	R11, 3, 31 (一社)天領上下まちづくりの会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	5,000 人	10,437 人	3,755 人	5,437 人	208.7 %
R5	10,000 人	13,548 人	3,111 人	3,548 人	135.4 %	
R6	10,000 人	10,982 人	-2,566 人	982 人	109.8 %	
R7						
R8						

増減理由
・令和6年2月上旬に上下町がテレビで全国放送されたことにより、昨年度は2月・3月の来館者が大幅に増えたが、令和7年の同期間中は、2月に雪が多く、3月も雨が多かったことから、来館者の減少につながった。

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用アンケート(2月22日～3月23日)	ひなまつり展来場者を対象・217件
	【主な意見】	【その対応状況】
	展示が良かった。館内の暗い場所があり、展示が見にくいところがあった。	指摘のあった場所に照明(LED)を加え整備を図った。
	トイレがきれい(ペーパーシートやチャイルドチェアが助かった)トイレの場所がわかりづらい。	トイレの誘導看板の位置を整え、スタッフが案内を行った。1日に何度かペーパーの補給や清掃を行った。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	事業報告書		
	月報	○	月次報告		
	日報(必要随時)	○	その他(雨漏り報告等)		
管理運営会議		【特記事項等】			
1回 会場 府中市役所		・歴史資料館運営審議会を開催し、現状や課題の報告に対する意見交換協議等を実施した。			
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】			
		・引き続き報告と意見交換協議を実施。			
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】
			○	○	
6月	7月	8月	9月	10月	
	○	○		○	
11月	12月				
○					・歴史資料の収集(令和6年4月) ・市民からの苦情対応に関する状況調査(令和6年7月) ・管理運営状況、施設確認(雨漏)など(令和6年4・5・7・8・10・11月) ・労働条件などのチェック(令和7年6・7月)

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	16,886	1,408		R4	0	0
R5	18,543	1,657	R5	0	0		
R6	19,419	876	R6	0	0		
R7	19,623	204	R7				
R8	19,940	317	R8				

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R5決算額	R6決算額	対前年度比	主な増減理由等	
委託事業	収入	市委託料	18,543	19,419	876	事務職員採用、電気料金増加見込
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	408	130	-278	R5年度は指定管理者からの繰入金有
		計(A)	18,951	19,549	598	
	支出	人件費	12,282	12,987	705	職員給与上昇、手当増
		光熱水費	2,206	1,448	-758	節電効果、開館時間短縮期間増
		管理費	739	957	218	
		施設維持修繕費	284	99	-185	
		事業費	0	570	570	R5年度は事業費と事務局費の区別なし
		事務局費	2,120	421	-1,699	R5年度は事業費と事務局費の区別なし
		その他支出	1,320	936	-384	支出減による公課費減
		計(B)	18,951	17,418	-1,533	
	収支①(A-B)		0	2,131	2,131	
	自主事業	収入(C)		0	0	0
支出(D)		0	0	0		
収支②(C-D)		0	0	0		
合計収支(①+②)		0	2,131	2,131	経費節減による余剰金	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>指定管理者として、管理運営方針にのっとり、職員が一致団結して業務に取り組み、施設の安全な維持管理を徹底してきた。</p> <p>具体的には、夏季にはクーリングシェルターとして、冬季には除雪の徹底や暖房強化、また、こども達が昔遊びに触れられるようレイアウトを変更するなど、地域住民や来館者が心地よく過ごせる空間づくりに取り組んだ。</p> <p>学芸業務についても充実を図った。聞き取り調査などの結果をもとに「素顔の岡田美知代」「水永・佐倉・岡屋の昔話と伝承」の企画展を展開し、記録に残せるよう展示解説シートの作成を行った。「郷宿」の文書や宿札、国留地域の戦前教科書などの資料収集と保存作業、デジタルアーカイブス公開を目標としたHPの新規開設と、Omekaネットへの資料館所蔵の岡田美知代作品一覧の一部掲載など、地道な活動にも積極的に取り組んだ。</p>	<p>施設の維持管理については、省エネなどの効率化を図りながら、クーリングシェルターといった市の取り組みにも協力し、地域住民や来館者が心地よく利用できるよう配慮した環境づくりが行われた。</p> <p>施設修繕については、指定管理者としての範囲内で各種修繕が実施された。ただ、市が再三指摘した2階岡田美知代展示コーナーの照明1ヶ所は何か月も電灯が切れたまま、年度内に更新されなかった。</p> <p>運営面については、地域や学校と連携したまちづくりへの貢献はもとより、企画展や各種催しの開催だけでなく、資料館の根幹業務としての各種研究会の継続、展示解説資料の作成、歴史資料の収集・整理といった、地道な活動にも積極的に取り組まれた。今後も継続した取り組みが必要である。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの実施状況を検証するとともに継続運営に全力を尽くす。 ○歴史文化講座や体験講座の参加者については、日程や内容の工夫によって、今はまだ大きく減少はしていないが、急激な少子高齢化によって、地域利用の入館者が減少していくことが今後の課題となっている。各世代・町内外からの利用者が何度でも来館したいと思えるような取り組みを継続する。 ○開館から22年経過し、施設の著しい経年劣化に加え、豪雪やゲリラ豪雨による雨漏りが深刻である。施設の修繕実施に向けて取り組むとともに、当面の応急処置に全力を尽くす。 ○個人や団体からの預かり品(人力車、看板等)について再確認し、返却や寄贈の手続きを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○開館から20年以上経過する中で、施設の大規模修繕が課題となっており、市が早急に対応していく必要がある。 ○入館者については、上下の町並み観光客の増減が資料館入館者の増減に直結していることが明らかとなった。今後も、入館者増への取組を継続する必要がある。 ○長年の課題であるが、寄託・寄贈処理されていない所蔵品についての整理(返却・寄贈手続含む)を早急に行う必要がある。 ○令和6年度は指定管理者が変更して1年目で、継続運営が主体であった。次年度以降は、継続運営に加えて、地域に根付いた指定管理者の強みを生かした独自の事業展開を期待する。